

日本感情心理学会 2026 年度常任理事会・理事会 議事録

日時：2026 年 4 月 24 日（金）13:00～15:00

会場：名古屋大学東山キャンパス 豊田講堂 第 3 会議室+オンライン

出席者（以下、敬称略）：有光興記（理事長）、澤田匡人（副理事長）*、稲垣勉（事務局長）、福田哲也（事務局幹事）*、木村健太、蔵永瞳*、一言英文、藤村友美*、北村英哉、小林亮太、白井真理子、鈴木敦命、山本恭子、武藤世良、門地（仙波）里絵

*オンライン参加

委任：薊理津子、大平英樹、手塚洋介、中村真、樋口匡貴、山本品友
オブザーバー（監事）：阿部恒之、谷口高士（欠席）

【審議事項】

1. 2025 年度の決算案

・有光理事長より、資料に基づき、2025 年度の収支決算報告の説明があった。また、阿部監事より、監査における結果が報告され、承認された。併せて、阿部監事・谷口監事より、学会の一年間の事業をまとめた一覧を作成してはという提案や、過年度と形式が異なるため、内訳などの補足があるとより分かりやすいのではないか、というご意見があった。

2. 2026 年度の予算案

・有光理事長より、2025 年度の予算案について説明され、承認された。

3. 会費未納による除名

・有光理事長より、資料に基づき、会費未納者の確認が行われた。3 年間以上の会費未納となっている会員の除名が承認された。

4. 2025 年度（第 33 回）大会（ライトキューブ宇都宮）会計報告

・木村常任理事（第 33 回大会実行委員会委員長）より、2025 年度（第 33 回）大会の会計報告がなされ、承認された。

5. 各種規程の改正について

・有光理事長より会則の改正について説明があり、審議の結果、承認された。会則は総会での議決を要するため、大会の総会にて再度諮ることとした。

6. ワーキンググループ（以下 WG）のメンバーについて

・有光理事長より、昨年度に設置が承認された「①多様な研究者の支援 WG (Universal Research Support: URS)」「②国際交流、国際学会との連携 WG (International WG)」について、それぞれ人選の依頼があった。審議の結果、①は門地理事、山本恭子理事、白井理事、武藤理事、鈴木理事、木村常任理事、②は有光理事長、一言常任理事、藤村常任理事、木村常任理事、鈴木理事を初期メンバーとすることが承認された。

8. 大会開催（有光）

・有光理事長より、2027年度に開催される大会について、大会実行委員会委員長は中西大輔先生（広島修道大学）、会期は2027年8月20日（金）—22日（日）（予定）とすることが提案され、承認された。また、2028年度（第36回）大会は大分大学（大会実行委員会委員長：村上裕樹先生）で開催予定であること、2029年度以降は交渉中であるとともに、立候補を受付中であることが報告された。

9. その他

・藤村感情心理学編集委員長より、2026年度より感情心理学研究の新規編集委員の提案があった。審議の結果、いずれも承認された。

【報告事項】

1. 会勢報告

・有光理事長より、資料に基づき、現在の会勢が報告された。

2. 各委員会報告

・学術プログラム委員会（年次大会／セミナー／出版）

一言委員長より、資料に基づき、学術プログラム委員会活動および2026年4月13日に開催されたセミナーについて報告された。

・機関誌刊行委員会

各編集委員会からの報告とする。

・感情心理学研究編集委員会

藤村編集委員長より、編集委員会活動に関して、学会誌への投稿数および審査状況の推移、編集状況、編集委員（任期満了、新規就任）などについて報告があった。そのほか、J-STAGEの早期公開について、33巻2号から開始したこと、即時オープンアクセス化への対応に関するものとして、著作権関連規程等の改訂を行った旨、報告があった。

・ES編集委員会

蔵永委員長より、編集委員会活動に関して、ESの発行状況、編集状況編集委員（任期満了、新規就任）などについて報告がなされた。また、特集の企画応募を促すため、学会ホームページの応募要項を加筆したこと、ESでも感情心理学研究と同様、J-STAGE投稿審査システムの使用を検討中であることが報告された。

・倫理委員会

特に報告事項なし

・ECR会

小林理事より、ECR会として、2025年度から活動を継続しており、昨年度に比して参加者数が大きく増えていること（65名）、大学院生（修士・博士）が割合として多いことなどが報告された。

3. 表彰関係

・有光理事長より、優秀論文賞および学術貢献賞、大会発表賞の各賞について報告がなされた（精励発表賞は該当者なし）。受賞者は以下の通りである。

なお受賞者の先生方には懇親会で授賞する際に一言いただいているが、今回は生理心理学会との合同大会であるため、優秀論文賞のみ賞状の授与を行い、大会発表賞についてはお名前のご紹介のみとすることが確認された。

・優秀論文賞：

向井 智哉先生・湯山 祥先生・貞村 真宏先生・松木 祐馬先生・綿村 英一郎先生（対象論文は以下のとおり）

特定少年の実名報道がシャーデンフロイデおよび量刑判断に及ぼす効果（第32巻2号）

小野島 昂洋先生（対象論文は以下のとおり）

羞恥感情の測定における信頼性——一般化可能性理論を用いた検討——（第32巻2号）

・学術貢献賞

該当者なし

・大会発表賞

・優秀研究賞：高山 彩先生（共著者：山口 幸生先生）

題目：潜在連合テストは姿勢と感情の結びつきを示す——事後妥当性の検証——

・若手優秀研究賞：藤澤 壮太郎先生（共著者：大隅 尚広先生）

題目：共感性は過失を自己に帰属させるか？——予測できない他者の苦痛における Intentional Binding と共感性の関連——

・精励発表賞

・林 萍萍 先生（2020, 2022, 2023, 2024, 2025 年度の発表）

・金澤 佑先生（2021, 2022, 2023, 2024, 2025 年度の発表）

・山本 晶友先生（2020, 2021, 2022, 2024, 2025 年度の発表）

・小林 亮太先生（2020, 2022, 2023, 2024, 2025 年度の発表）

・石川 遥至先生（2018, 2019, 2020, 2023, 2024 年度の発表）

以上